

# 「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想(案)」

## 意見募集(パブリックコメント)の結果について

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想(案)について、貴重なご意見をいただきありがとうございました。意見募集をした結果について、下記のとおり取りまとめましたので公表します。

1. 募集期間                      平成 29 年 1 月 5 日～1 月 31 日
2. 意見提出人数及び件数    1 人 4 件
3. 公表方法                      町ホームページ、広報あびら(1月号)、早来庁舎農林課、追分庁舎住民総合相談室

	意見の概要	町の回答	備考
①	畜産類型の場合は畜舎、堆肥舎、それらに伴う作業道路等のスペースが必要であり指標とする前提での作付面積合計<経営面積を考慮する必要があるのではないか。	<p>畜舎、堆肥舎等は、畜産経営において必要な施設装備として生産方式に表記し、これら施設を含めた経営指標としてきたところです。</p> <p>しかし、ご提言いただきましたとおり、これまでは作付面積(農地面積)を経営面積として表記してきたところですが、畜産経営においては、畜舎、堆肥舎等の施設用地の一定面積を必要とするため、これらも経営面積として表記する方がより具体的でありますので、修正したい。</p>	<p>関連施策 P9～</p> <p>下記のとおり修正</p>
②	酪農類型において、主たる従事者と補助従事者の労働時間を他産業並みとするにはヘルパーを使っても難しく、実労働時間から北海道最低賃金を参酌しても、今後職業として選択し安定的に継続していくための1経営体当りの農業所得はもっと高く設定しなければならないのではないか。	<p>町内の酪農経営においては、大規模経営から小規模経営まで様々な経営体で成立っており、これを踏まえた平均的な1経営体当りの農業所得の目標として算出したところです。</p> <p>また、国の各種事業等は、本構想で設定される営農類型が基準になることもあるため、過大な指標であれば、小規模</p>	

		<p>経営の農業者が目標を達成できず、事業等を活用できなくなる可能性もあります。</p> <p>これらを踏まえて総合的に検討したところ、本構想(案)で示した営農類型が、現状の町内農業者が目標とすべき、妥当な指標であると考えているので、ご理解いただきたい。</p>	
③	<p>新規就農者の育成・確保について、従来行って来た対策も継続し後継者含む毎年3組の確保は大切であるが、女性の活躍も含めて独身農業従事者に対する花嫁確保支援を適齢期男性への合コン型支援だけでなく、適齢期を過ぎつつある男性に対して単独お見合い型支援をすべきと考える。地域の農業男性が伴侶を得、その女性と共に農業を意欲的に経営し、子育てを通じながら次世代へと農業をリレーして行く事は長い目でみて地域社会に大いに貢献することから、適切な予算化をして投資するに値すると思う。</p>	<p>新規就農者の育成・確保については、毎年3組の確保を目標として、本構想で掲げておりますが、これらを確保するための具体的な方策や、事業実施のための適切な予算化等については、各施策の中で検討してまいります。</p>	
④	<p>農振の網かけを取り除くべきと考える。</p>	<p>農業振興地域制度における農用地区域は、農業振興のため、設定されているものであります。</p> <p>また、本構想でも掲げている農用地利用集積(利用権の設定)は、農用地区域が要件であることや、国の各種事業等についても農用地区域であることが事業要件となるなど、重要な区域設定でありますので、ご理解いただきたい。</p>	

■提出意見による計画の修正部分

関連意見	箇所	修正前	修正後	箇所	修正前	修正後
①	P9 ⑤ 畑作 肉牛 複合	<<作付面積等>> ・小麦 2.5ha ・大豆 2.5ha ・小豆 2.5ha ・てん菜 2.5ha ・牧草 10.0ha <hr/> 経営面積 20.0ha	<<作付面積等>> ・小麦 2.5ha ・大豆 2.5ha ・小豆 2.5ha ・てん菜 2.5ha ・牧草 10.0ha ・施設用地等 0.2ha <hr/> 経営面積 20.2ha	P11 ⑨ 畑作 酪農 複合	<<作付面積等>> ・小麦 3.0ha ・大豆 3.0ha ・小豆 3.0ha ・てん菜 3.0ha ・牧草 25.0ha ・デントコーン 7.0ha <hr/> 経営面積 44.0ha	<<作付面積等>> ・小麦 3.0ha ・大豆 3.0ha ・小豆 3.0ha ・てん菜 3.0ha ・牧草 25.0ha ・デントコーン 7.0ha ・施設用地等 0.5ha <hr/> 経営面積 44.5ha
	P11 ⑩ 酪農 専業	<<作付面積等>> ・牧草 25.0ha ・デントコーン 7.0ha <hr/> 経営面積 32.0ha	<<作付面積等>> ・牧草 25.0ha ・デントコーン 7.0ha ・施設用地等 0.5ha <hr/> 経営面積 32.5ha	P12 ⑪ 肉牛 専業	<<作付面積等>> ・牧草 20.0ha <hr/> 経営面積 20.0ha	<<作付面積等>> ・牧草 20.0ha ・施設用地等 0.2ha <hr/> 経営面積 20.2ha
	P12 ⑫ 養豚 畑作 複合	<<作付面積等>> ・小麦 1.0ha ・大豆 1.0ha ・小豆 1.0ha ・てん菜 1.0ha <hr/> 経営面積 4.0ha	<<作付面積等>> ・小麦 1.0ha ・大豆 1.0ha ・小豆 1.0ha ・てん菜 1.0ha ・施設用地等 1.0ha <hr/> 経営面積 5.0ha	P14 ② 畑作 肉牛 複合	<<作付面積等>> ・小麦 1.0ha ・大豆 2.0ha ・小豆 1.0ha ・てん菜 1.0ha ・牧草 5.0ha <hr/> 経営面積 10.0ha	<<作付面積等>> ・小麦 1.0ha ・大豆 2.0ha ・小豆 1.0ha ・てん菜 1.0ha ・牧草 5.0ha ・施設用地等 0.2ha <hr/> 経営面積 10.2ha
	P37 ⑤ 畑作 肉牛 複合	⑤畑作・肉牛複合 (20.0ha) (繁殖牛25頭) ○畑作10.0ha、○草地10.0ha、 <hr/> ○繁殖牛25頭(出荷22頭)	⑤畑作・肉牛複合 (20.2ha) (繁殖牛25頭) ○畑作10.0ha、○草地10.0ha、 ○施設用地等0.2ha、 <hr/> ○繁殖牛25頭(出荷22頭)	P37 ⑨ 畑作 酪農 複合	⑨畑作・酪農複合 (44.0ha) (経産牛40頭) ○畑作12.0ha、○草地25.0ha、 <hr/> ○飼料用とうもろこし7.0ha、 ○1頭当たり乳量8,000kg	⑨畑作・酪農複合 (44.5ha) (経産牛40頭) ○畑作12.0ha、○草地25.0ha、 ○施設用地等0.5ha、 <hr/> ○飼料用とうもろこし7.0ha、 ○1頭当たり乳量8,000kg

関連意見	箇所	修正前	修正後	箇所	修正前	修正後
①	P37 ⑩ 酪農 専業	⑩酪農専業 (32.0ha) (経産牛40頭)  ○草地25.0ha  ○飼料用とうもろこし7.0ha、 ○1頭当たり乳量8,000kg	⑩酪農専業 (32.5ha) (経産牛40頭)  ○草地25.0ha ○施設用地等0.5ha、 ○飼料用とうもろこし7.0ha、 ○1頭当たり乳量8,000kg	P37 ⑪ 肉牛 専業	⑪肉牛専業 (20.0ha) (繁殖牛40頭)  ○草地20.0ha、  ○繁殖牛40頭(出荷32頭)	⑪肉牛専業 (20.2ha) (繁殖牛40頭)  ○草地20.0ha、 ○施設用地等0.2ha、 ○繁殖牛40頭(出荷32頭)
	P37 ⑫ 養豚 畑作 複合	⑫養豚・畑作複合 (4.0ha) (母豚50頭)  ○小麦1.0ha、○小豆1.0ha、 ○大豆1.0ha、 ○てん菜1.0ha、  ○出荷頭数1,050頭	⑫養豚・畑作複合 (5.0ha) (母豚50頭)  ○小麦1.0ha、○小豆1.0ha、 ○大豆1.0ha、 ○てん菜1.0ha、 ○施設用地等1.0ha、 ○出荷頭数1,050頭	P38 ② 畑作 肉牛 複合	②畑作・肉牛複合 (10.0ha) (繁殖牛16頭)  ○畑作 5.0ha、○草地 5.0ha、  ○繁殖牛16頭(出荷14頭)	②畑作・肉牛複合 (10.2ha) (繁殖牛16頭)  ○畑作 5.0ha、○草地 5.0ha、 ○施設用地等0.2ha、 ○繁殖牛16頭(出荷14頭)